

## 第61回パグウォッシュ会議世界大会における安倍総理メッセージ

第61回パグウォッシュ会議世界大会の開催に当たり、心からお祝いを申し上げます。

これまでパグウォッシュ会議では、核兵器の拡散を防ぎ、核兵器廃絶の早期実現を目指す具体的な道筋と目標を見定めるために様々な意見交換が行われ、具体的な提言が行われてきたと承知しています。

本年は、被爆70年であるとともに、パグウォッシュ会議発足のきっかけとなったラッセル・アインシュタイン宣言から60年の節目の年でもあります。このような年に、被爆地長崎において会議が開催されることは、世界の著名な科学者や専門家の皆さんが被爆の悲惨な現実に直に触れ、核兵器の非人道的影響の正しい理解につながるだけでなく、被爆地から「核兵器のない世界」に向けた新たな提言を、国際社会に力強く発信するという点でも大変大きな意義があります。

本年5月に行われた核兵器不拡散条約（NPT）運用検討会議では、残念ながら最終合意に至らず、将来の核軍縮・不拡散の指針を示すことができませんでしたが、本会議を機に「核兵器のない世界」に向けた機運が更に高まることを期待しています。

私は、被爆70年の本年、8月6日及び9日、原爆犠牲者慰霊平和記念式典出席のために広島と長崎を訪れ、改めて平和の尊さをかみしめ、唯一の戦争被爆国として、非核三原則を堅持しつつ、「核兵器のない世界」の実現に向けて、国際社会における核軍縮の取組を主導していく決意を新たにしました。

来年、日本はG7議長国となり、4月に広島で外相会合を開きます。我が国としては、核兵器国と非核兵器国、双方の協力を引き続き求めつつ、「核兵器のない世界」の実現に向けて、一層の努力を積み重ねていきます。

最後に、被爆地長崎において、参加者の皆様が被爆の記憶を風化させない、核廃絶を成し遂げたいという被爆者の強い思いを世代と国境を越えて継承され、「核兵器のない世界」実現に向けた有意義な議論が行われることを期待し、また、今次会議の成功と参加者の皆様のますますの御健勝をお祈りし、私の祝辞とさせていただきます。

平成27年11月1日  
日本国内閣総理大臣  
安倍晋三